



## 自然共生社会の構築

GRI 102-12,15, 304-3, 4

アイシンでは、生物多様性保全の実現に向け、考え方・方向性をまとめ、持続可能な企業活動に向けた環境指針を提示した「アイシングループ生物多様性ガイドライン」を2017年にアイシン連結環境保全研究会で制定しました。このガイドラインに沿って、研究会では、環境異常の未然防止に加えて、自然環境を守るための生物多様性活動に積極的に取り組んでいます。第7次アイシン連結環境取組プランにおいて自然と共生する工場の目標を設定し、自然との調和をめざしています。

### カナダでの生物保全活動

アイシン カナダでは、生物保全活動の一環として、テムズ川の絶滅危惧種であるトゲスッポンの保全活動を開始しました。この活動はテムズ川にて卵を採り、孵化させた後、川に返すという活動です。生息環境維持改善のため、川の清掃活動も実施しています。



### 自然と共生する工場の活動

第7次アイシン連結環境取組プランの目標である自然と共生する工場認定に向け、アイシンでは独自の定義を検討し、活動を進めています。2021年度は対象3拠点、指標種の選定が完了しました。アイシン半田工場、アイシン軽金属有機工場、アイシン辰栄幸田工場の3社でワーキンググループを開始し、密に情報を交換しています。



生態系調査の様子(アイシン半田工場)



指標種のウシモツゴ(アイシン辰栄幸田工場)

### 全国5ヵ所での生物多様性保全活動の実施

日本国内拠点がある地域を中心に、全国5ヵ所で地域に根ざした生物多様性活動を行っています。熊本県の活動では、継続的な希少種保護活動協力に際し、県より感謝状が贈呈されました。



北海道(ウトナイ湖)  
2016年～継続活動  
湖畔周り外来種除去による生態系保護



北陸地区(中池見湿地)  
2014年～継続活動  
中池見湿地内の里地里山保全  
(無農薬水田維持)による生物多様性保護(希少種:デンジソウ)



九州地区(阿蘇保護区)  
2015年～継続活動  
除草による希少種の保護(希少種:オブラセンノウ)

東北地区(花巻市溜池部)  
2017年8月～  
除草、外来種除去等による希少種保護活動(ゼニタナゴ)

三河地区(矢作川河口)  
2012年～継続活動  
生物調査、清掃活動を碧南水族館と共同で地域住民とともに実施

### 生物多様性に関するアライアンスへの参画・イニシアチブへの賛同

アイシンではこれらの生物多様性活動を行いながら、環境省の30by30アライアンスへの参画、経団連生物多様性イニシアチブへ賛同をしています。

